

家庭学習の充実に向けた実践を行っている学校の取組

取組の特徴	「学校生活のしおり」を活用した学習習慣の確立、家庭学習の質的改善、全国学力・学習状況調査問題等の活用
-------	--

白河市立白河中央中学校

【取組の概要】

3年間を通して「学校生活のしおり」を活用し、学習習慣の確立を図っている。また、家庭学習の習慣化から質的改善に向けた様々な取組をうとともに、全国学力・学習状況調査の結果を分析し、自校の課題について共通理解を図り、授業や家庭学習に活用している。

1 取組① 共通理解を図り指導しています

○ 「学校生活のしおり」を活用した学習習慣の確立

新入生に「学校生活のしおり」を配付し、オリエンテーションを実施している。中学校における学習のねらいやそのねらいを達成するためにどのようなことが必要なのか、授業での心構え、家庭学習の仕方など、オリエンテーション実施後も3年間「学校生活のしおり」を基に、各教科において指導を継続している。また、家庭と連携が取れるよう、保護者に対して学年だよりや保護者会などで周知を行っている。継続的に「学校生活のしおり」を活用することで、全教職員が共通理解の基、一貫した指導ができています。

また、小中連携の観点から、学区内の小学校にも「学校生活のしおり」を提供し、小中学校の接続がスムーズになるよう配慮している。



<p>中学校における学習のねらい</p> <p>生徒の中には「なぜ」「何のために」学習をするのかよくわからない人も少なくないようですが、中学校では次のようなことを基本にすえて、毎日学習していきます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 小学校で学習してきたことから、より一層充実・発展させます。 2 人間として、よりよい社会生活を営むうえで必要となる基礎的・基本的な知識や技能はもちろん、自ら学ぶ意欲や思考力・判断力・表現力などを身につけます。 3 人間としての基本的な行動様式を身につけ、自主性、根拠強さ、創意工夫、協働性、社会性、責任感、寛容、そして公正な判断力を養います。 <p>上記のようなことから学習することにより、自ら学ぶ意欲と社会の変化に主体的に対応できる能力が育成され、個性を生かす力も伸ばすことができ、将来に向けて人間としての資質を向上させる基礎を築くことができるようになります。</p>	<p>国語科学習のすすめ方</p> <p>1 ねらい</p> <p>「国語」は、あらゆる科目を勉強するうえで、その土台となる教科です。それは「国語」が毎日の生活を営むうえでとても大事な「言葉」を通して、思考力・判断力を身につけることを目的としたものだからです。</p> <p>「国語」の勉強の第一歩は、毎日の生活の中で目にふれたり、耳にしたりする言葉に強い関心をもち、自分で課題をみつけ解決していく力を身につけていくことです。</p> <p>また、「国語」を通して、自国の伝統や文化を大切に、外国の文化を尊重する態度を養います。自分の目や耳で、身のまわりの「国語」に心を配るようにしましょう。</p> <p>2 ねらいを達成するために</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) できるだけ本や新聞を読み、読めない漢字は辞書で調べ、読み方や意味を覚えましょう。 (2) テレビ・周囲の人たちの話し言葉に常に気を配り、正しい日本語を使いましょう。 (3) 図書室を積極的に活用し、読書の幅を広げ、授業で疑問に思ったことなども調べる習慣を身につけましょう。
<p>各教科に共通する学習上の留意点</p> <p>1 「なぜ?」「どうして?」を大切にしよう!</p> <p>→ 学習はすべて素朴な疑問からスタートします。ひとつの物事をいろいろな角度から見つけ、「?」をどんどん出していきましょう。</p> <p>2 「どうすればいいのかな?」を考えよう!</p> <p>→ 問題を解くにはどのような方法、どのような資料、教材、用具を使って学習に取り組めばいいのか・・・学習の見通し(作戦)を立てましょう。</p> <p>3 「試してみよう」という挑戦の姿勢を待とう!</p> <p>→ 学習の見通し(作戦)が立ったなら、実際に取り組んでみましょう。</p> <p>4 「みんなはどう思うかな?どう考えるかな?」という、他に学ぶ姿勢を待とう!</p> <p>→ 自分一人での考えでは、行きづまったり、方向を誤ったりしてしまいます。友達の見解や、先生のアドバイスを参考にしてみましょう。</p>	<p>数学科学習のすすめ方</p> <p>3 授業への取り組み方</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 本時の学習課題をつかむ。 何を勉強するのか、この時間で学習することをつかみましよう。 (2) 課題を解決するための方法を考える。 今まで学習してきたことや先生の説明、友達のを聞きながら課題を解決する方法を考えましよう。 (3) 課題の解決・強化・定着 課題を解決したら確認し、別な方法があるかを考えましよう。数学的な考え方や処理の仕方、知識をより確実なものにするため問題練習をしましよう。 <p>4 家庭学習のしかた</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 復習 ①教科書やノートなどで、今日の学習内容を確認しましよう。 ②大切な点、むずかしい箇所、できなかった問題をはっきりさせ、もう一度問題に取り組ましよう。 ③問題の解き方や考え方を確かめ、授業で行った問題だけでなく、問題集などで十分練習しましよう。 (「ワークブック・週末課題」などを活用) (2) 予習 ①教科書にひととおり目を通して、次の時間の内容を調べましよう。 ②それまでの学習内容とのつながりを教科書、ノートで調べ、わかるところ、わからないところを区別していきましよう。

2 取組② 内容・方法を指導しています

(1) 家庭学習の習慣化から質的改善に向けた取組

各学年、各学級の自主学習ノートの提出率を週単位で調査している。校内で実施しているアンケート調査結果からも、ほぼすべての生徒に家庭学習の習慣が身に付いていることがうかがえる。そこで、「家庭学習の質的改善」を掲げ、「家庭学習スタンダード」の視点を基に家庭学習チェックシートを作成している。生徒自身に家庭学習の自己評価をさせ、改善に向けた手立てを考えさせるとともに、保護者にもコメントをもらい、家庭の協力を得られるように工夫している。さらに、各学級において、工夫された自主学習ノートを「自学王」として紹介する取組も継続的に行っている。

ふくしまの
「家庭学習スタンダード」より

【家庭学習チェックシート】

十分できていると思われるところに「○」をつけて確認しましょう。

No.	チェック項目	生徒	保護者
1	学習する場所を整理している。		
2	正しい姿勢で学習している。		
3	目標をもって学習している。		
4	計画を立てて学習している。		
5	学習する時間を決めている。		
6	集中して学習している。		
7	宿題以外の学習もしている。		
8	苦手な教科も学習している。		
9	様々な分野の本を読んでいる。		
「○」の数の合計			

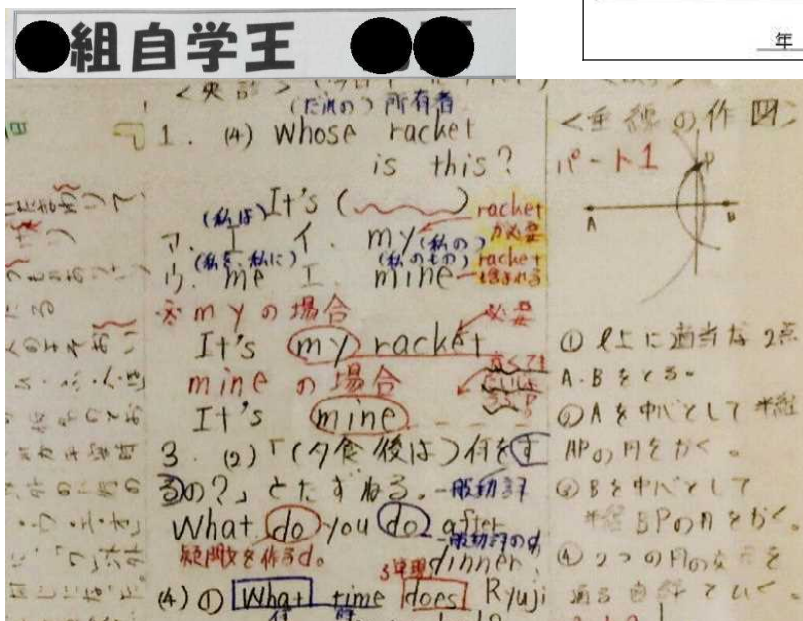
配付期(1) 保護者の家庭学習への関与(指導)を促す
 ① 家庭学習の習慣化(2) 家庭学習の質的改善(3) 家庭学習の習慣化(4) 家庭学習の質的改善
 ① 家庭学習の習慣化(2) 家庭学習の質的改善(3) 家庭学習の習慣化(4) 家庭学習の質的改善
 ① 家庭学習の習慣化(2) 家庭学習の質的改善(3) 家庭学習の習慣化(4) 家庭学習の質的改善

【生徒のみさん：改善できるところを書きましょう。】

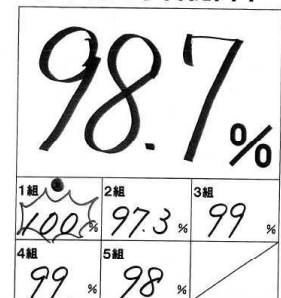
【保護者の皆様：お気づきの点、話し合われたことを一言お書き下さい】

年 組 番 氏 名

<「自学王」に選ばれた自主学習ノート>



(5)月(14)日
~(5)月(18)日の
学年自主学習提出率



中間テストまであと少し。自学王めざしてがんばろう。

(2) 全国学力・学習状況調査問題等の活用

全国学力・学習状況調査実施後、すぐに自己採点させることで、生徒自身が課題を意識できるようにしている。教員も教科部会で採点を行い、どのような問題が出題されていて、生徒にどのような力を身に付けさせればよいのか共通理解を図り、学習指導に生かしている。さらに、過去の全国学力・学習状況調査問題や高校入試問題を小問ごとに各学年に振り分け、定期テストや授業、家庭学習などで活用している。

家庭学習の充実に向けた実践を行っている学校の取組

取組の特徴	「12年間をつなぐ家庭学習」と「自主学習の内容の工夫」
-------	-----------------------------

会津坂下町立坂下南小学校

【取組の概要】

町内1中学校、2小学校、2幼稚園が望ましい生活習慣づくりについて共有を図っている。また、家庭と連携した家庭学習の習慣づくりの取組がなされている。

1 取組① 協力・連絡体制を築きます

(1) 12年間をつなぐ家庭学習

会津坂下町では、「子育て支援日本一を目指した『一つの学園構想』」のもと、町内の幼稚園、小学校、中学校が“一貫性”“共通性”“継続性”で「育ち」と「学び」をつないでいる。

発達段階に応じて、家庭学習の内容を例示し、さらに保護者の役割の例も示すことで、学校と家庭が連携して家庭学習の習慣づくりに取り組んでいる。

また、幼稚園においても小学校との接続を意識した家庭学習の在り方を保護者と共有し、保護者の関わり方の例を示すなど、12年間を見通した一貫性のある取組がなされている。

保存版：幼稚園から中学校まで使用します。見える場所に貼るなどご活用ください。

※平成28年度より換算3年生保護者向け

学年	内容(例)	保護者の役割(例)
幼稚園	<ul style="list-style-type: none"> 学校の「お楽しみ」を優先して取り組み、それが済んだら「〇」の項目を参考に取り組んでみる。 小学校は「家庭学習の手引き」、中学校は「学習の手引き」を基本として、自分でも工夫しながら取り組んでほしい。 <p>内容：国語科、算数・数学科、英語科の各学年で身に付けておきたい力の一端です</p>	<p>学習する環境を作りましょう</p> <ul style="list-style-type: none"> 学習がはまった場所 学習する時間を決める テレビを消す
小学1・2年	<p>①国語 ②算数 ③日記や作文(構想を考えよう)</p> <p>①漢字・計算練習等</p> <p>【1年生】</p> <ul style="list-style-type: none"> 教科書を正しく読んで字が読める ひらがな、カタカナが読める 国語の基礎知識が身につく 「たし算」「ひき算」を正しく使える たし算・ひき算ができる <p>【2年生】</p> <ul style="list-style-type: none"> 国語の配当漢字が読めて書ける 読みかえを覚え、順序よく書ける ひらがな・カタカナが読める 算数で計算ができる かさの単位が使える ひき算のやりかたがわかる 簡単な表やグラフを使って表したり読みかたりできる 	<p>一緒に学習してやる気をおこさせる時期</p> <p>「読める、書ける時期」と同時に「学習の習慣」を身に着け、家でも勉強する習慣をつけましょう。</p> <p>学習から遊びのメリハリを一緒に確かめましょう。</p> <p>「寝るまで」など正しい生活で学習する習慣をつけましょう。</p> <p>正しい勉強法に気を配りましょう。</p>
小学3・4年	<p>①国語 ②算数 ③日記や作文(中心をおさえて)</p> <p>①漢字・計算練習等</p> <p>【3年生】</p> <ul style="list-style-type: none"> 200字の配当漢字が読めて書ける 文章を読み、要点をまとめることができる ローマ数字が読める かけ算の筆算ができる わり算ができる <p>【4年生】</p> <ul style="list-style-type: none"> 200字の配当漢字が読めて書ける 文章を読み、要点をまとめることができる 国語辞典・漢字(漢字)辞典が使える 公算の読みかたがわかる 割合・百分率の読みかたがわかる コンパスが正しく使える 	<p>認めてほめて自信をつけさせる時期</p> <p>まず、学校の宿題、そして好きなものも読んで学習する習慣をつけましょう。</p> <p>学習の習慣、勉強を身に着けて学習する習慣を身につけさせましょう。</p> <p>学校が得意なところは、コンプレックスを減らし、アドバイスをしたりして補っていきましょう。</p>
小学5・6年	<p>①国語 ②算数 ③日記や作文(自分の考えを明確にして) ④読書(読書)</p> <p>①漢字・計算練習等</p> <p>【5年生】</p> <ul style="list-style-type: none"> 180字の配当漢字が読めて書ける 文章を読み、要点をまとめることができる 小数のかけ算・わり算ができる 百分率が読める 割合・わり算ができる 公算を正しく使える 公算の読みかたがわかる 割合・百分率を使った問題が解ける <p>【6年生】</p> <ul style="list-style-type: none"> 小学校で習得した漢字を全部(1,000字)が読めて書ける(6年生の配当漢字は181字) 目的に応じて、考えたことを構成して書ける 公式を使って円周率や面積、円柱の体積が求められる 割合・百分率を求められる 比や比例がわかり、文字を使って式に表すことができる 	<p>見守って、伸ばす時期</p> <p>宿題、そして読書の習慣を中心に、計画を立てて学習を進めようとする習慣を身につけさせよう。</p> <p>読書の習慣を身につけて、声や文字で表現する力も身につけさせよう。</p> <p>読書の楽しさを味わわせよう。</p> <p>読書の楽しさを味わわせよう。</p>
中学生	<p>①国語 ②算数 ③自主学習 ④読書(読書)</p> <p>①漢字・計算練習等</p> <p>【1年生】</p> <ul style="list-style-type: none"> 小学校で習得した漢字1,000字に加え、その他の常用漢字のうち250～300字が読める 目的に応じて、考えたことを構成して書ける 公式を使って円周率や面積、円柱の体積が求められる 割合・百分率を求められる 比や比例がわかり、文字を使って式に表すことができる <p>【2年生】</p> <ul style="list-style-type: none"> 1年生で習得した常用漢字に加え、その他の常用漢字のうち300～350字が読める 目的に応じて、考えたことを構成して書ける 公式を使って円周率や面積、円柱の体積が求められる 割合・百分率を求められる 比や比例がわかり、文字を使って式に表すことができる <p>【3年生】</p> <ul style="list-style-type: none"> 2年生までで習得した常用漢字に加え、その他の常用漢字のほとんどが読める 目的に応じて、考えたことを構成して書ける 公式を使って円周率や面積、円柱の体積が求められる 割合・百分率を求められる 比や比例がわかり、文字を使って式に表すことができる 	<p>よく話を聞き、生活学習の大切さに気付かせる時期</p> <p>自主的な学習習慣を確立できるよう指導しよう。</p> <p>読書の楽しさを味わわせよう。</p> <p>読書の楽しさを味わわせよう。</p>

子どもたちの意識向上や教育環境の醸成が見られます。小学校と幼稚園の連携授業が多く、小学生の子どもたちの思いやりの気持ちや、年下の子にいろいろ教えてあげなくてはならないという気持ちも育っているように感じます。

中学校においては、小学校からの学習習慣を継続発展できるような「学習の手引き」に沿って取り組んでいくことができるので、学習意欲の向上も見られています。また、小学校から励んできた部活動を継続できる指導環境も整っていることで、ぐんぐん上達しています。

【町広報より 保護者からの御意見】

(2) 生活習慣・家庭学習習慣の涵養

毎年、家庭学習の習慣づくりとともに、望ましい生活習慣づくりについても積極的に取り組んでいる。

特に、メディアコントロール、子どもとのコミュニケーションに力を入れており、各家庭にも浸透してきている。

ご家庭にお願いしたいこと

望ましい生活習慣と家庭学習習慣を身に付けさせましょう！

大人がモデルです
お家の方から一声かけていきましょう！

＜全学年学力・学習状況調査から、学力の高い児童生徒に見られる共通点＞

- 1 朝食をきちんと摂る子ども
- 2 テレビ、DVD、ゲーム、スマホ等の時間をコントロールしている子ども
※ 家庭内で、明確なルールがあり、それを守っている子ども
- 3 家庭学習の習慣が身に付いている子ども
- 4 読書の習慣が身に付いている子ども
- 5 家の人と学校での出来事について話している子ども

	幼稚園	小学校低学年	小学校中学年	小学校高学年	中学校
生活リズム	早寝・早起き・朝ごはん（睡眠時間をしっかりととり、同じ時刻に就寝・起床）				
あいさつ	相手を見て元気なあいさつ		相手を見て自分から先にあいさつ		時と場に応じたあいさつ・礼儀
テレビゲームスマホ等	① 時間を決める（原則：幼稚園・小学校は9時以降、中学校は10時以降利用を控える） ② スマホ・携帯は原則持たせない（持たせる場合は、必ずルールを決める） ③ ネット機器（スマホ・携帯、ゲーム機、音楽プレーヤー等）のフィルタリングを設定する				
家庭学習（1日の目安）	1日の出来事話す 子どもが興味を持った ことに関心を示す	1年 20分以上 2年 30分以上	3年 40分以上 4年 50分以上	5年 60分以上 6年 70分以上	1年 90分以上 2年 120分以上 3年 180分以上
読書	読み聞かせをする ※ 自分で目標を決めて記入しよう（例：毎日10分以上読書 1ヶ月10冊読む など）				1ヶ月 冊以上 ※ 自分で目標を決めて記入しよう
子どもとのコミュニケーション	1日の出来事などについて話す 子どもが興味を持った ことに関心を示す	学校での出来事、友達のこと、勉強のことなどについて話す			学校での出来事、友達のこと、勉強のこと、社会の出来事やニュース、将来の夢などについて話をする
歩行*	通園・通学を含め、日頃から歩く習慣を身に付ける				

※ 「歩行」の指導

2 取組② 内容・方法を指導します

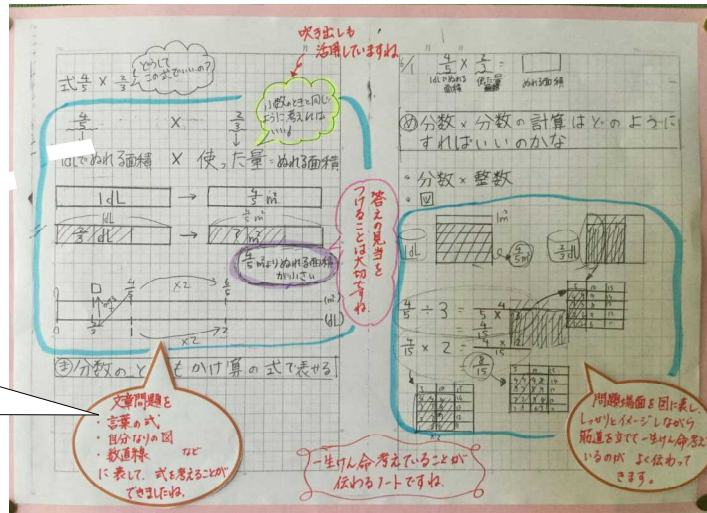
(1) 自主学習の内容の工夫

町から示された家庭学習の例を基に、各学年で家庭学習の実施状況を確認する場をもっている。学校の取組を保護者会やお便りを通じて家庭と共有し、家庭学習の内容・方法について共通理解のもと指導を行っている。自主学習の内容については、漢字や計算練習などとともに、上学年では、定着確認シートや全国学力・学習状況調査問題にも取り組んでいる。

学年	家庭学習の実施状況（方法・内容等）
1年	・プリント（ひらがな・読み取り・計算など） ・音読（国語の教科書 今学習しているところ） ・計算カード（7月から）
2年	・音読（国語の教科書、読書も含む） ・プリント（国語・算数形成プリント、印刷したもの） ・漢字の学習（ノート1p以上）自主学習（ノート1p以上）
3年	・プリント（国語・算数の形成） ・音読・漢字練習・自主学習
4年	・漢字計算ドリル ・プリントによる復習を中心の宿題 ・自主学習1ページ（1日50分以上の家庭学習） ・週末作文
5年	・音読・ドリル（漢字・計算）・形成プリント（国語・算数） ・算数の力・算数プリント・自主学習、プリント等（1日60分以上）
6年	・音読・形成プリント（国語・算数）・漢字、計算スキル ・繰り返し計算ドリル・読書・作文等（1日70分以上の家庭学習）

(2) ノートコンクールの実施

授業のノートや自主学習ノートのコンクールを実施し、表彰されたノートは廊下に掲示している。また、高学年では、これまでの自主学習ノートをロッカーに並べ、互いに見合うことにより家庭学習への意欲を高めている。



よいところや工夫しているところを称賛し、意欲付けを図っている。

文章問題を
言葉の式
自分から
数通帳
に表し、式を覚えること
で記す。

一生懸命考えたことが
わかるノートですね

問題場面を図に表し
しるしを使いながら
筋道を立てて一人ひとりの
わかるように
記す。

家庭学習の充実に向けた実践を行っている学校の取組

取組の特徴 「自己マネジメント力を育む取組」と「授業と家庭学習をつなぐ手立て」

猪苗代町立吾妻中学校

【取組の概要】

生徒たちの「自己マネジメント力」を育成すべく、「絆ノート」の活用、コース選択制によるノーメディアデーの取組を行っている。また、家庭学習と個別指導、家庭学習と授業の関連を図った実践を積み重ねている。

1 取組① 内容・方法を指導しています

(1) 自己マネジメント力を育む取組

① 「絆ノート」の活用

学校生活と家庭生活ともによりよいものを目指していくために、日々の生活記録や学習計画を記入する「絆ノート」を独自に作成し、活用している。

今年度は、学校の課題である「メディア時間の多さ」の改善を図るために、メディアに触れる時間や生活時間の使い方も書き込めるように仕様を改めた。

教育相談（学習相談）時には、「絆ノート」を各教科担任が確認し、各個人の家庭学習の状況やこれからの改善策を具体的にアドバイスしている。

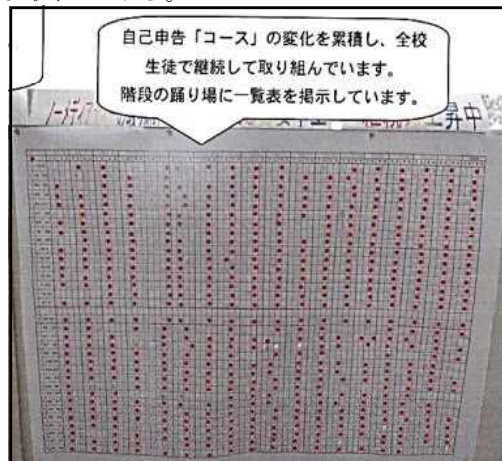
② ノーメディアデー

基本的に、毎週木曜日に実施。水曜日に次の日自分が実施するコースを決め、一覧表に自己申告をする形で実施している。

完全なノーメディアとするのではなく、生徒の実態に応じて自己申告する形なので、メディアとのつきあい方を自ら考えることになるとともに、無理なく取り組める。時間を大切に使うことの大切さ、ゲームのやり過ぎが脳に与える影響などを考えて、自分の生活をよりよく管理し、実践する力をつけさせる効果的な取組である。

日付	科目	授業内容・準備物	宿題	タイム	今日の学習計画と記録	日記
1	行事	新任式・卒業式	理 プリ		教科 内容 時間	今日は入学式があった。緊張したけど、大きな声で発表することができた。中学校生活頑張るぞ。
2	学活				国語 漢字 60	
3	準備	入学式準備			英語 音読 英単語 30	
4	準備	入学式準備			理科 プリント 30	
5	学活	入学式				
6	集会	入学式				
7	集会	入学式				
8	行事	生徒会入会式			数学 プリント 30	
9	行事	生徒会入会式			英語 予習 60	
10	学活	写真撮影・学校紹介			自学 英単語 30	
11	学活				教科 内容 時間	
12	学活				理科 プリント 20	
13	学活				国語 漢字 20	
14	学活				英語 社会 テスト 80	
15	学活				自学 計算 70	
16	学活					
17	学活					
18	学活					
19	学活					
20	学活					
21	学活					
22	学活					
23	学活					
24	学活					
25	学活					
26	学活					
27	学活					
28	学活					
29	学活					
30	学活					
31	学活					

- ### 2 具体的取り組み
- 毎週水曜日に次の日自分が実施するコースを決め、昇降口前掲示板の一覧表に自己申告コースを記入する。
 - コースは以下の4つにする。
 - SSコース**・・・その日一日はメディア接触（テレビ、ゲーム、パソコン等）を一切しない＆何をして過ごすか（読書、自主学習、家族との対話、手伝いなど）を決めて過ごすコース
 - Sコース**・・・その日一日はメディア接触（テレビ、ゲーム、パソコン等）を一切しないコース
 - Aコース**・・・1日メディア接触（テレビ、ゲーム、パソコン等）時間を1時間以内に制限するコース
 - Bコース**・・・1日メディア接触（テレビ、ゲーム、パソコン等）時間を2時間以内に制限するコース
 - 毎週金曜日に自己申告したコースの脇にノーメディアシールをはる。
 - 昇降口前掲示板の一覧表の確認を担当が行う。



(2) 脳科学からのアプローチ

★ 効果のある繰り返し方

繰り返す方法にも、効果のあるやり方とそうでないやり方があります。効果のある方法を使えば、繰り返す回数が少なく済みます。どうすればいいのかというと「五感を使って覚える」のです。つまり、目・耳・口・手など多くの感覚を使ったときの方が覚えやすいのです。その中でも特に脳と関係が深いのは、耳・舌・指といった部分です。目で見ただけでなく、手を使って書いたり、声に出して読んだりした方が覚えられるのはそのためです。



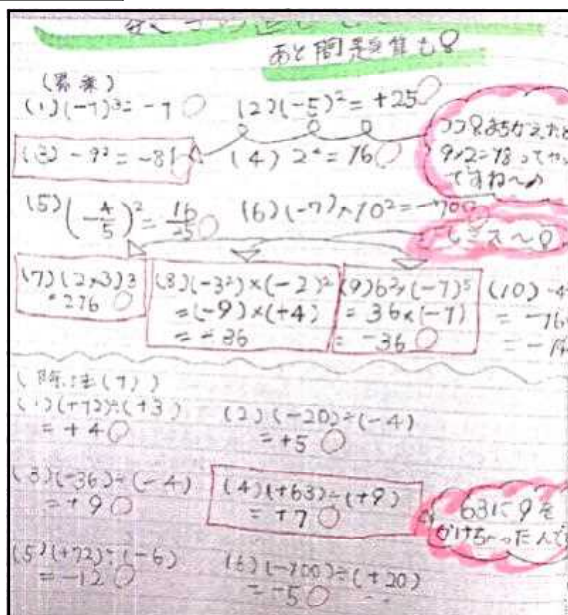
「学習の手引き」の全体版に、脳科学に基づく効果的な学習の仕方を紹介。

「五感を使って覚えると効果的」、「1ヶ月に4回は繰り返すと効率よく復習できる」、「覚えたことを人（自分）に説明して記憶する」など、家庭学習に役立つ情報を掲載し、科学的な意味付けを行った上で指導に当たっており、学習集会で全校生向けに指導もしている。

(3) 定期テスト前質問学習会の実施

定期テスト5日前に2回の質問学習会を実施。普段の授業や、前日の家庭学習でわからなかったことを教科担当の先生等に質問したり、生徒同士で教え合ったりする機会を設けている。

日頃、質問したいと思っても遠慮して聞けない生徒も多く、そのような生徒にとっては大変貴重な機会となり、満足度も高く、かつ、教師と生徒の距離が近くなったと感じる生徒も多い。また、質問して学習した内容を日頃の学習に生かそうと取り組んでいる生徒の姿が見られた。（自主学習ノート、まちがい直しノート等の作成など）



2 取組② 授業と家庭学習をつなげています

○ 授業と家庭学習をつなぐ手立て

各教科において、次時の授業につながる家庭学習を意識し、以下のように手立てを講じている。これらの実践により、次時の授業の取組がスムーズになり、進んで問題解決をする生徒の姿など、学習に意欲的に取り組み、学習内容を理解しようとする積極的な姿が見られた。

教科	【手立て③】の概要
国語科	○ 次時の学習につながるような宿題の出し方に努める
社会科	○ 生徒全員に、次時の学習内容の要点をまとめる予習を課し、生徒の自主学習を促す取り組みを行う。 ○ 授業終末時に次時の学習課題を設定し、次の授業で予習してきたことが授業で役立った、分かった、疑問が解決したという達成感を持たせる。
数学科	○ 家庭学習の方法を示す。(ワークの活用方法、予習・復習のあり方) ○ 次時の学習につながるような宿題の出し方に努める。 ○ 宿題の添削や小テストを実施することで、力が向上してきたことを実感できるようにする。
理科	○ 授業の学主内容と家庭の学習内容を関連付ける。 ○ 宿題の点検と添削・評価を行う。
英語科	○ 事前テストと事後テストを実施し、それをもとに学習計画を立て、家庭学習で予習・復習で取り組むなどの工夫をさせる。 ○ 授業と結び付いた内容の家庭学習を提示し、学習してきたよかったと思えるようにする。
保健体育	○ 自分の記録の伸長や努力の成果が実感できるようにデータを蓄積して提示する。生徒の成長や努力を見取り、喜びを共有することで、さらなる取り組みにつなげる。

家庭学習の充実に向けた実践を行っている学校の取組

取組の特徴	「家庭学習計画タイム」と「家庭学習カード」を活用した自己マネジメント力の育成
-------	--

只見町立只見小学校

【取組の概要】

日課表の中に毎日15分間の「家庭学習計画タイム」を設定し、児童自らが「Research（自分を知る）」、「Plan（計画する）」できるように支援している。また、「家庭学習カード」を活用し、「Check（確かめる）」、「Action（見直す）」できるようにも支援している。教育活動全体を通して「R-PDCA サイクル」を意識できるようにして「自己マネジメント力」の育成に取り組んでいる。

1 取組① 内容・方法を指導しています

(1) 日課表の中に「家庭学習計画タイム」を設定

5校時終了後の15分間、児童が家庭学習の具体的な計画を立てる「家庭学習計画タイム」を設定している。校内行事等があり、設定している時間帯に実施できない場合でも、朝の活動の時間に実施するなど、時間を調整して取り組んでいる。

学級担任を中心に、管理職や学級担任外も加わり、計画が立てられない児童には、計算や漢字の学習など、取り組みやすい内容を紹介している。また、学習の量や難易度が児童の力に合っているか、必要に応じて助言を行っている。

継続して取り組むことによって、家庭学習への意欲を高めるとともに、見通しをもち進んで家庭学習に取り組むことができるようになってきている。

今後は、家庭学習を授業と連動させることによって学習効果を高め、基礎的・基本的な学習内容が確実に身に付くように工夫していく。

〔家庭学習計画タイム〕

平成30年度 只見小学校日課表(通常時程)				短縮時程		特別時程	
時刻	月曜日	火曜日・水曜日	木曜日	金曜日	時刻	時刻	時刻
8:00	登校	登校	登校	登校	8:00	8:00	8:00
8:15	登校集会	読書タイム	読書タイム	読書タイム	8:10	8:10	8:10
8:20	児童集会	ドリルタイム	ドリルタイム	ドリルタイム	8:20	8:20	8:20
8:30	学級朝の会	学級朝の会	学級朝の会	学級朝の会	8:30	8:30	8:30
9:15	第1校時	第1校時	第1校時	第1校時	8:55	8:55	8:55
9:20	第2校時	第2校時	第2校時	第2校時	9:00	9:00	9:00
10:05	マラソン(冬・継続)	マラソン(冬・継続)	マラソン(冬・継続)	マラソン(冬・継続)	9:45	9:45	9:45
10:15	自由遊び	自由遊び	自由遊び	自由遊び	9:50	9:50	9:50
10:30	第3校時	第3校時	第3校時	第3校時	10:35	10:35	10:35
10:35	第4校時	第4校時	第4校時	第4校時	10:40	10:40	10:40
11:20	給食	給食	給食	給食	11:20	11:20	11:20
11:25	第5校時	第5校時	第5校時	第5校時	11:25	11:25	11:25
12:10	給食	給食	給食	給食	12:15	12:15	12:15
12:15	給食	給食	給食	給食	12:20	12:20	12:20
13:00	昼休み 職員休憩	昼休み 職員休憩	昼休み 職員休憩	昼休み 職員休憩	13:10	13:10	13:00
13:45	清掃	清掃	清掃	清掃	13:45	13:45	13:45
14:00	第5校時	第5校時	第5校時	第5校時	14:30	14:30	14:30
14:05	第6校時	第6校時	第6校時	第6校時	14:35	14:35	14:35
14:50	家庭学習計画タイム	家庭学習計画タイム	家庭学習計画タイム	家庭学習計画タイム	14:50	14:50	14:50
15:00	第6校時	第6校時	第6校時	第6校時	15:00	15:00	15:00
15:15	委員会	委員会	委員会	委員会	15:15	15:15	15:15
16:00	下校SB	下校SB	下校SB	下校SB	16:00	16:00	16:00
16:15	下校SB	下校SB	下校SB	下校SB	16:15	16:15	16:15
16:30	下校SB	下校SB	下校SB	下校SB	16:30	16:30	16:30

※職員休憩：通常時程の場合12:50～13:35、短縮時程の場合13:45～14:30、特別時程の場合13:05～13:50



(2)「家庭学習カード」による振り返り

各学年で「家庭学習カード」を活用し、「家庭学習計画タイム」で立てた計画について振り返りをしている。各学年で使用する「家庭学習カード」は、全学年共通で設ける項目（宿題と自主学習の内容、音読する箇所、読む本の題名、学習時間、保護者のチェック欄）と、各学年の実態に応じて設ける項目から構成されている。

4学年は、保護者と担任がコメントを書くことで意欲付けを行っている。また、6学年は、学習に取り組んだ時刻も記録するようにし、決まった時刻に家庭学習を始める習慣づくりを行っている。

[4学年の「家庭学習カード」]

3年生 レベルアップのための家庭学習カード	（はんせい）	よくできた	まあまあ	あと一歩
月 日 曜日	内容	はんせい	時間	はんせい
5月28日	音読 P45	○	5分	今日のひとこと 空いて113時間を使って、こうやって頑張りました。
	宿題 国語ドリル	○	10分	
	自主学習 漢字	○	15分	この人のサイン(できればひとこと) 漢字を10個覚えた。
5月29日	音読 P48	○	2分	今日のひとこと 頑張った。
	宿題 算ドリル漢字	○	9分	
	自主学習 漢字	○	19分	この人のサイン(できればひとこと) 漢字を10個覚えた。
5月30日	音読 きのこの山1のぼろ	○	1分	今日のひとこと 宿題をこらしてやった。
	宿題 国語ドリル	○	5分	
	自主学習 かんじ	○	7分	この人のサイン(できればひとこと) かんじを10個覚えた。
5月31日	音読 のはなごころ	○	5分	今日のひとこと がんばりました。
	宿題 算スキル18.19	○	15分	
	自主学習 わり算	○	25分	この人のサイン(できればひとこと) わり算を10問解いた。
6月	音読 もうおきな	○	40分	今日のひとこと 1休みの日
	音読 宿題	○	5分	

[6学年の「家庭学習カード」]

5月

太陽

学習シート

氏名

あなたがそこにいるだけで
その国の空気が明るくなる
あなたがそこにただいるだけで、
みんなの心がやすらぐ
そんなあなたに私もなりたい
綱田 みつを

(6年生の学習のきまり)
① 音節を伸ばし、自分の机で学習しよう。(最低70分)
② 集中して学習しよう。(ながら学習はしません。)
③ 音読は、きちんと声に出して読もう。
④ 進んで読書に取り組もう。(最低1日10分)
⑤ 分からないところは、ノートや教科書、辞書でしっかり調べよう。
⑥ 学習したものをうちのの人に確認してもらおう。

日	学習時間	宿題	自主動	音読	読書	読書の 学習の 状況	読書の 状況
1 火	5:00~6:30	国語ドリル	計10回	イ-ス9-島	大塚 10分	○	○
2 水	5:00~6:30	漢字	計10回	イ-ス9-島	大塚 10分	○	○
3 木	5:00~6:30	漢字	計10回	イ-ス9-島	大塚 10分	○	○
4 金	5:00~6:30	漢字	計10回	イ-ス9-島	大塚 10分	○	○
5 土	5:00~6:30	漢字	計10回	イ-ス9-島	大塚 10分	○	○
6 日	11:00~12:00	作文	計10回	漢字	大塚 10分	○	○
7 月	~						
8 火	5:00~6:30	国語ドリル	計10回	イ-ス9-島	大塚 10分	○	○
9 水	5:00~6:30	算のドリル	計10回	イ-ス9-島	大塚 10分	○	○
10 木	5:00~6:30	算ドリル	計10回	イ-ス9-島	大塚 10分	○	○
11 金	5:00~6:30	算	計10回	イ-ス9-島	大塚 10分	○	○

2 取組② 協力・連携体制を築いています

○ 家庭学習充実のための校内体制の確立

定期的に学力向上対策委員会を開催し、家庭学習計画タイムの進め方について共通理解を図っている。

第1回は、家庭学習スタンダードの概要やねらいの確認を行った。教職員の転出入があったことから、昨年度リーフレットを配付した際に各家庭にお願いしたことについて、教職員全体で共通理解を図った。また、家庭学習計画タイムの進め方について、右の資料を用いて全体で確認し、各学年同一歩調で家庭学習充実のために取り組んでいる。第2回は、各学年の取り組み状況や課題になっていることなどを共有し、より充実させるための手立てについて話し合いを行った。

家庭学習計画タイムの進め方

只見町立只見小学校

- 目的**
児童が学校において家庭学習の具体的な計画を立てることによって、家庭学習への意欲を高めるとともに、具体的な見通しをもち進んで家庭学習に取り組むことができるようにする。
○ 家庭学習を授業と連動することによって学習効果を高め、基礎的・基本的な学習内容が確実に身につくようにする。

- 実施時間**
第5校時終了後の15分間
- 進め方(例)**

- 担任からその日の宿題を連絡しプリント等を配付する。
- 児童は、連絡された内容と配布されたプリント等からどれくらいの時間を要するか判断する。そして、自主学習をどれくらいの時間するか決める。
- 計画に必要な教科書やこれまでのプリント・ノートを準備し、自主学習の計画を自主学習ノートに立てる。
① 何をやるか。
② どれくらいの量・時間やるか。
③ 必要に応じて、漢字なら1文字、計算なら問題をノートに書く。

＜ノートの例＞	
<p>1 国語の漢字 異なる ※ いくつか書けるようになった 遣 漢字は練習しない。 城 関 護 警 患 優 優</p> <p>2 上の漢字を使った熟語 遣 遣 遣 遣 …… 内閣 看護 警察 憲法 優勝</p>	<p>2 算数の計算 ① 9.5 - 6.8 ② 10.8 - 9.9 ③ 12.8 - 3.9 ④ 1.5 × 3.3 ⑤ 6.5 × 9.6</p> <p>3 社会科 憲法太子の行った政治について調べ学習をする。</p> <p>4 理科 ものを燃やす働きのある気体の実験について振り返る。 ① 実験の手順 ② 実験の結果 ③ 実験をして分かったこと</p>

- 担任は、児童の計画に目を通し、無駄な家庭学習にならないか指導する。
- 読書の計画を立てる。
- 時間が余るようであれば家庭学習に取りかかる。

家庭学習の充実に向けた実践を行っている学校の取組

取組の特徴	授業と家庭学習をつなぐ「家庭学習90プラン」と生徒会の取組
-------	-------------------------------

南会津町立南会津中学校

【取組の概要】

授業と家庭学習をつなぐために、学校の実態を踏まえた「90分」という時間の有効活用を意識させる「家庭学習90プラン」に取り組んでいる。また、生徒自らも家庭学習の充実に向けて様々な取組を行っている。

1 取組① 授業と家庭学習をつないでいます

○ 授業と家庭学習をつなぐ「家庭学習90プラン」の実施

授業と家庭学習のサイクルを意識できるように、教育活動全体で「家庭学習90プラン」に取り組んでいる。学校の統合に伴い、1時間以上かけて登下校している生徒もいる実態を踏まえ、「90プラン」をもとに時間の有効な使い方について指導を行っている。

教師は、授業と家庭学習のつながりが実感できる授業づくりに取り組んでいる。また、生徒自らが、学習した内容の定着を確認するために、全国学力・学習状況調査問題や過去の定着確認シート問題を教室に準備し、生徒がすぐに活用できるよう工夫している。

今後は、「家庭学習スタンダード」を活用し、自校の実態に応じた「家庭学習の手引き」を作成するため、現職教育部会や各教科部会において話し合いを進める計画である。

学校での勉強(授業)と家庭学習は車の両輪

家庭学習90プラン

(机に向かう時間)

授業 ↔ 家庭学習

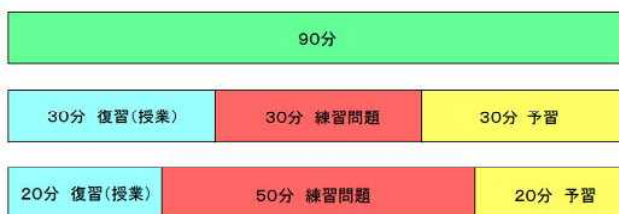
真剣に集中して 必ず机に向かおう
宿題OK 自主学習OK

- 毎日できるだけ同じ時間帯で
- 「ながら勉強しない」 テレビみながらダメ
- 宿題は必ずやる
- 予習の習慣化 (国語の漢字 英語の単語など)
※テレビは最小限に ※平日ゲームはしない

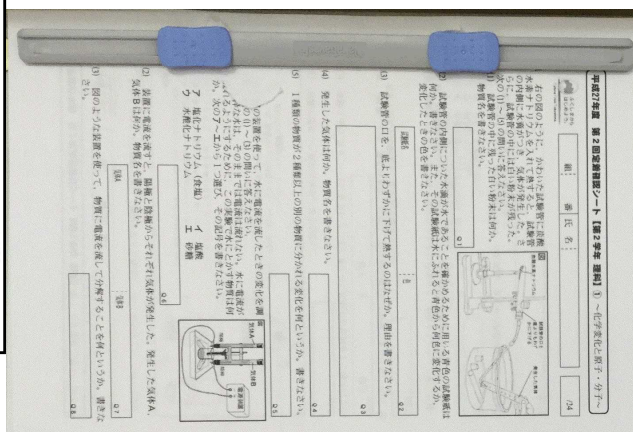
1年生 90分を目指して → 2年生 90分を完全に → 3年生 90分以上を目指して

今頑張らないで いつ頑張る!

<「家庭学習90プラン」の取り組み方>



<教室に準備された定着確認シート>

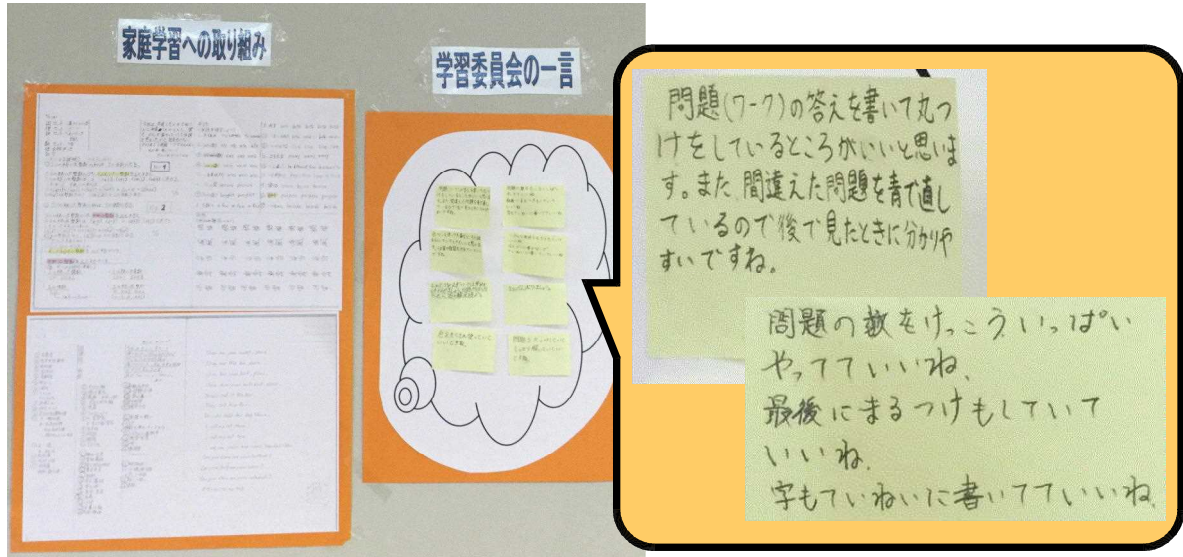


2 取組② 協力・連携体制を築いています

○ 生徒会による様々な取組

① 学習委員会による見本となる家庭学習の紹介

「家庭学習90プラン」の活用に向けて、学習委員会においては、見本となる家庭学習ノートを教室や廊下に掲示し、どのような点が工夫されているのか、どこを改善するともっと充実した家庭学習になるのかなど、学習委員から一言コメントをつけている。



② 生徒会本部による時間の有効活用に向けた取組

生徒会本部においては、「スマートフォン、PC等の使用についてのわたしたちの7つの約束」を定め、メディア等の接し方や時間の有効活用などを呼びかけている。また、「親と子の7つの約束」により、家庭の協力が得られるよう、生徒自身が保護者へ向けて情報発信の周知も行っている。

**スマートフォン・PC・携帯等の使用について
わたしたちの7つの約束**

南会津中学校生徒会

スマートフォン・PC・携帯などはとても便利で楽しいものです。しかし、間違った使い方をすると弊い一面があることもわかります。私たちは安全に使用するため、次のことを約束します。

- 1 使用できる時間は朝6時から夜9時までにし、それ以降は必ず親に預けます。
※どうしても連絡したい時は、保護者をお願いします。
- 2 ルールやマナーをきちんと守って使用します。
- 3 フィルタリングを付けてもらいます。また、勝手に外しません。
- 4 学校には、絶対に持って行きません。
- 5 人をだましたり、バカにしたりするために使用しません。また、誰かを傷つける会話やメール、チャット犯罪になるので絶対に加わりません。
- 6 自分や友達の写真・個人の情報等をネット上に載せることは犯罪になることを理解し、絶対にしません。
- 7 約束を守れなかった時は、親に預けます。そして、これからどうするかを話し合います。

**スマートフォン・携帯等の使用について
親と子の7つの約束**

南会津中学校

スマートフォン・携帯はとても便利な機器です。私たちは保護者として、あなたたちに安全に使用させる義務と責任があります。また、購入するにも使用するにも料金がかかります。それを払っているのは私たち保護者です。だから以下の約束をしっかりと守って使用しましょう。

- 1 使用できる時間は朝6時から夜9時までです。それ以降は必ず親に預けてください。
- 2 ルールやマナーを守って使用しましょう。
- 3 フィルタリングを勝手に外してはいけません。
- 4 学校に持って行ってはいけません。
- 5 人をだましたりバカにしたりするために使用してはいけません。また、誰かを傷つける会話やメール、チャットには加わるのはいけません。(犯罪になります)
- 6 カメラやビデオで何でもかんでも撮影しないようにしましょう。特に自分や友達の写真・個人の情報等をネット上に載せることは絶対にやってはいけません。(犯罪になります)
- 7 約束を守れない場合は、預かります。そこでどうするかを話し合います。